

## 新潟市消防局救急救命士再教育実施要綱

平成21年12月25日施行

平成23年 4月 1日施行

平成28年 2月25日施行

平成28年12月15日改正

令和 2年 4月 1日改正

### (目的)

第1条 この要綱は、救急救命士の資格を有する救急隊員等が行う救急救命処置について、その質の確保及び維持向上に努めるため、メディカルコントロール（以下「MC」という。）体制下で就業後の再教育が適切に行われることを目的とし、これに関し必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この要綱において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 救急救命士隊員 救急救命士（救急救命士法（平成3年法律第36号）第2条第2項に規定する救急救命士をいう。）の資格を有し、救急救命士の就業前研修（平成6年4月1日付け消防救第42号通知）を修了した救急隊員等をいう。
- (2) 再教育 MC体制下で行われる救急救命士隊員の知識及び技術の向上のための継続的な教育をいう。
- (3) 再教育研修担当者 消防局長（以下「局長」という。）の命により救急救命士隊員の救急業務の活動状況及び再教育の履修状況を把握し、再教育について実質的な管理などを行う者をいう。
- (4) 再教育プログラム 再教育の内容を定めたものをいう。

### (責務)

第3条 局長は、救急救命士隊員の再教育が効果的に行われるよう関係機関と連携し、再教育プログラムの充実及び再教育の履修体制の整備を図るとともに、救急救命士隊員の救急業務の活動状況及び再教育の履修状況を踏まえ、必要に応じ所属長に対し指導又は助言を行う。

- 2 所属長は、所属する救急救命士隊員に対し指導又は助言を行うほか、再教育が効果的に行われるよう学習環境の整備に努める。
- 3 救急救命士隊員は、MC体制の下で自らが行う救急救命処置の質の確保及び維持向上を図るため、業務又は自己啓発を問わず継続的に知識の向上及び技術の練磨に努める。
- 4 再教育研修担当者は、救急課救急指導係長がその任にあたり、前条第3号に定

める内容のほか、再教育が効果的に行われるよう、各消防署救急担当係長と連携を図るなどして履修促進に努める。

(履修項目及び履修単位)

第4条 救急救命士隊員が履修する再教育の項目及び履修単位は、別表のとおりとし、2年間で128単位の再教育を履修する。

(履修状況の記録)

第5条 救急救命士隊員は、再教育の履修状況、救急業務の活動状況について、別記様式1-1から別記様式3までに記録し、保管するとともに適宜所属長へ報告する。

(報告)

第6条 所属長は、所属する救急救命士隊員の救急業務の活動状況及び再教育の履修状況について救急救命士再教育・業務活動記録集計表(別記様式3)により年度毎に集計を行い、局長へ報告する。

2 局長は、所属長からの報告を精査した後、救急救命士再教育取得単位集計表(別記様式4)により新潟地域MC協議会長等へ報告する。

(再教育実施の要領)

第7条 局長は、救急救命士隊員の再教育が効果的に行われるよう、再教育に関する具体的な方法、手段、記録及び報告の要領を別に定める。

(局長が定める必要事項)

第8条 局長は、この要綱によるほか、再教育に関し必要な措置を講ずることができる。

附 則

この要綱は、平成21年12月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年2月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年12月15日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

## 別表（第4条関係）

## 再教育履修プログラム

教育項目		単 位	備 考
就業中再教育病院実習		16（1当務）	必須48，上限96
		8（1日）	
ドクターカー・ドクターヘリ同乗実習* <sup>1</sup>		2	上限10
症例検討会* <sup>2</sup>	座長・発表	5	必須8，上限30
	参加のみ	3	
学術集会・研究会・講演会* <sup>3</sup>	座長・発表	15	上限20
	参加のみ	5	
実践技能教育コース* <sup>4</sup>	受講	10	必須5，上限30
	指導・タスク	5	
教育指導* <sup>5</sup>		5	上限20
論文執筆* <sup>6</sup>	筆頭	15	
	共著	3	
特別講義の受講* <sup>7</sup>		2	上限10
救急救命技術研修会* <sup>8</sup>	地域で実施	10	上限20
	所属で実施	5	
傷病者搬入時研修* <sup>9</sup>		5	必須15，上限50
医療関係者救急車同乗実習* <sup>10</sup>		2	上限6

## 1 注釈の説明

## \*1 ドクターカー・ドクターヘリ同乗実習

- ・ドクターヘリについては，同乗見学を含むものとする。

## \*2 症例検討会

- ・医師の助言が得られるもの

## \*3 学術集会・研究会・講演会

- ・全国救急隊員シンポジウム，日本臨床救急医学総会，日本救急医学会東北地方会（東北救急医学会），新潟救急医学会
- ・その他，救急医療に関する学会，研究会，講演会で，県MC協議会が認めたもの

## \*4 実践技能教育コース

- ・JPTECプロバイダーコース，JPTEC更新コース，JPTECインストラクターコース，ICLSコース，ICLS指導者養成ワークショップ，PSLSコース，AHA・BLSコース，ITLSコース，AHA・

ACLSコース, DMAT隊員養成研修会, JMECC, MCLSコース,  
ISLSコース, T&Aコース, iPEDコース

- ・メディカルラリー
- ・その他, 救急医療に関する教育研修コースで県MC協議会が認めたもの
- ・受講者としての参加を10単位, 指導者又はタスクとしての参加を5単位とする。

\* 5 教育指導

- ・県MC協議会, 地域MC協議会からの依頼で行う教育指導
- ・消防学校での講師
- ・市町村など関係部署, 企業等から研修依頼の講師
- ・医療機関からの依頼による講師, 指導員

\* 6 論文執筆

- ・プレホスピタルケア, 救急医学, 日本臨床救急医学会雑誌, 消防防災など救急医療関連の雑誌に掲載された論文の執筆者, 共同執筆者
- ・その他, 消防, 救急医療関連の雑誌で, 県MC協議会が認めたもの

\* 7 特別講義の受講

- ・県MC協議会, 地域MC協議会, 消防学校が企画する特別講義
- ・その他の講義で, 県MC協議会が認めたもの

\* 8 救急救命技術研修会

- ・県MC協議会, 地域MC協議会, 各消防本部が地域で実施する技術研修会(10単位)
- ・各消防本部, 各消防署で所属する救急隊員を対象として行う技術研修会(救急業務に携わる職員の生涯教育を含む。), 県MC協議会, 地域MC協議会に実施記録を提出(5単位)
- ・その他の技術研修会で, 県MC協議会が認めたもの

\* 9 傷病者搬入時研修

- ・薬剤投与, 気管挿管実施例及び救急救命士が興味深いと考えた事例で, 病院に傷病者を搬送した際に, 診療の補助又は見学を行い, 報告書を提出する。

\* 10 医療関係者救急車同乗実習

- ・医師, 看護師又は医療系学生の救急車同乗実習

2 再教育プログラム及び履修単位に関する留意事項

救急救命士隊員は, 別表に示した教育項目及び単位数に基づき, 原則として2年間で128単位以上の再教育を履修することとする。(単位の算定及び集計は, 年度で実施)

また, 病院実習に関しては, 48単位を必須としたほか, その他の項目では,

症例検討会，実践技能教育コース及び傷病者搬入時研修の履修を必須とする。

なお，特定の項目のみで多数の単位を取得しすぎず，バランスのよい再教育の受講が図れるように，項目によっては，上限ポイントを定め，それぞれに定めたポイントを取得の上限とする。

別記様式 1 - 1

\_\_\_\_ 年度

就業中再教育病院実習記録

実 習 期 間 又 は 実 習 日	年 月 日 ~ 年 月 日
実 習 時 間	時間 ( 当務 ・ 日)
実 習 施 設	
実 習 指 導 者	
実 習 の 概 要	

\*実習日誌等を別に保管すること。

\*実習時間は、1当務は16時間、1日は8時間で計上する。

別記様式 1 - 2

\_\_\_\_年度

ドクターカー・ドクターヘリ同乗実習記録

日	時	年		月	日 ( )	覚知時刻	:
出 動 番 号		事 案 種 別		傷 病 者	歳 男・女		
搬送先医療機関					同乗医師		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドクターカー・ドクターヘリ 出動事由</li>   <li>・ 救急活動内容</li>   <li>・ 傷病名等</li> </ul>							
医師の指導内容							
指 導 医 師							

別記様式 1 - 3

\_\_\_\_\_ 年度

症例検討会参加記録

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
参 加 状 況	座長 ・ 発表 ・ 参加のみ (○で囲む)
内 容	

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
参 加 状 況	座長 ・ 発表 ・ 参加のみ (○で囲む)
内 容	

別記様式 1 - 4

\_\_\_\_ 年度

学術集会・研究会・講演会 参加記録

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
参 加 状 況	座長 ・ 発表 ・ 参加のみ (○で囲む)
内 容	

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
参 加 状 況	座長 ・ 発表 ・ 参加のみ (○で囲む)
内 容	

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
参 加 状 況	座長 ・ 発表 ・ 参加のみ (○で囲む)
内 容	

\*新潟県救急救命士会，全国救急隊員シンポジウム，救急隊員部会，その他各種医学会等に参加した場合に記録する。

\*参加証・領収証等を裏面に添付し保管すること。(ある場合のみ添付)

別記様式 1 - 5

\_\_\_\_ 年度

実践技能教育コース受講記録

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
参 加 状 況	受講 ・ 指導 ・ タスク (○で囲む)
受講コース	2日型 ・ 1日型 ・ 半日型 (○で囲む)
内 容	

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
参 加 状 況	受講 ・ 指導 ・ タスク (○で囲む)
受講コース	2日型 ・ 1日型 ・ 半日型 (○で囲む)
内 容	

\*標準化されたガイドラインを用いられたシミュレーション学習を対象とする。

\*受講又は高志での参加もポイントとする。

\*参加証・領収書等を裏面に添付し保管すること。(ある場合のみ添付)

別記様式 1 - 6

\_\_\_\_ 年度

教育指導の記録

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
対 象 者	
内 容	

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
対 象 者	
内 容	

名 称	
日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
対 象 者	
内 容	

\*教育指導は、新潟県消防学校における救急救命士養成課程，救急科，初任科等の講師をいう。

別記様式 1 - 7

\_\_\_\_年度

論文執筆の記録

タ イ ト ル	
掲 載 誌 名 発 表 学 会 名	
掲 載 号 等	年 卷 号 ページ
種 別	筆頭筆者 ・ 共著 (○で囲む) (筆頭筆者名)
内 容	

タ イ ト ル	
掲 載 誌 名 発 表 学 会 名	
掲 載 号 等	年 卷 号 ページ
種 別	筆頭筆者 ・ 共著 (○で囲む) (筆頭筆者名)
内 容	

\* 共著の場合、筆頭筆者名を記載すること。

\* 学会発表の場合は、年月日を記載すること。

別記様式 1 - 8

\_\_\_\_ 年度

特別講義の受講記録

日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
内 容	

日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
内 容	

日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
内 容	

\*参加証を裏面に添付し保管すること。(ある場合のみ添付)

別記様式 1 - 9

\_\_\_\_ 年度

救急救命技術研修会参加記録

日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
内 容	

日 時	年 月 日 ( ) : ~ :
場 所	
指 導 者	
内 容	

\*参加証を裏面に添付し保管すること。(ある場合のみ添付)

別記様式1-10

\_\_\_\_年度

傷病者搬入時研修記録

日	時	年 月 日 ( )			覚知時刻	:
出 動 番 号		事案種別		傷病者	歳 男・女	
搬送先医療機関						
隊 員 氏 名						
事故概要・処置の内容・事例に関する疑問点等						
医師の指導・助言内容及び反省点等						
指導医師名						

\* 傷病者を医療機関に搬送し、処置の補助等を行い、医師から指導・助言を受けた場合は記録すること。(意見を求めるようにすること。)

\_\_\_\_年度

医療関係者救急車同乗実習記録

日 時	年 月 日 ( ) : ~ :	
同 乗 者		研修医・看護師・医学生 その他 ( )
救 急 隊 名		
隊 員 氏 名		
概 要	<div style="border: 1px solid black; height: 400px; width: 100%;"></div>	

\*概要欄に、実習内容及び医師等から指導・助言を記載すること。

特定行為・CPA搬送事例の記録

年 月 日	隊 名 出動番号	除細動	特定行為							特記事項 (実施回数, 成功, 不成功, その他の必要事項 を記載すること。)
			食道閉鎖式 エアウェイ	ラリンゲアル マスク	気管挿管	静脈路	静脈路確保 (CPA前)	アドレナリン	ブドウ糖 溶液投与	
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										
. .										

\* 心肺機能停止の傷病者を搬送した場合または特定行為を実施した場合は、必ず記録すること。

\* 除細動, 特定行為の記載は, 実際に行った場合は「実」, 補助を行った場合は「補」と記載すること。

\* 特定行為未実施の理由等, その他記録すべき事項があれば, 特記事項欄に記載すること。

別記様式 2 - 2

検証結果の記録

発生日	事例概要	医師の指導・助言内容
. .		
. .		
. .		

\*一次検証会，二次検証会等において指導，助言を受けた事例を記載するものとする。

別記様式 2 - 3

活動困難事例の記録

発 生 日 時	年 月 日 ( ) :		
隊名・出動番号		傷病者	歳 男 ・ 女
搬送先医療機関		傷病名	
事故概要			
内容・対処			
反省点等			

\*救出に時間を要した事例，病院選定に時間を要した事例，長時間活動，その他活動上対処が困難であった事例を記録するものとする。

別記様式3

救急救命士再教育・業務活動記録集計表

年度

所 属	救急救命士資格取得年月日
階 級	気管挿管認定・登録年月日
氏 名	薬剤投与(認定)・登録年月日
	H26拡大行為認定・登録年月日

再教育記録集計表

目 目	単 位	実施数	単位数	備考(数値は2年間で)
就業中再教育病院実習	16(1当務)	0	0	必須48、上限96
	8(1日)	0		
ドクターカー・ドクターヘリ同乗実習	2	0	0	上限10
症例検討会	座長・発表	5	0	必須8、上限30
	参加のみ	3		
学術集会・研究会・講演会	座長・発表	15	0	上限20
	参加のみ	5		
実施技能教育コース	受講	10	0	必須5、上限30
	指導・タスク	5		
教育指導	5	0	0	上限20
論文執筆	筆頭	15	0	
	共著	3		
特別講義の受講	2	0	0	上限10
救急救命技術研修会	地域で実施	10	0	上限20
	所属で実施	5		
傷病者搬入時研修	5	0	0	必須15、上限50
救急車同乗実習	2	0	0	上限6
総 取 得 単 位 数			0	

業務活動(除細動・特定行為)実施記録集計表

処置の種類別	実施(回)	介助(回)
除細動	0	0
気道確保	食道閉鎖式エアウェイ	0
	ラリngeアルマスク	0
	気管挿管	0
		0
静脈路確保	0	0
静脈路確保(CPA前)	0	0
薬剤投与	0	0
ブドウ糖溶液投与	0	0

確 認 者

所 属	
階 級	
氏 名	印

